

「高等学校における道德教育の充実に向けて」

広島県教育委員会
指導第三課 播磨 寛宗

1 高等学校における道德教育に係る動き

(1) 国・都道府県の主な動き

- 平成 16 年 山梨県総合教育センターで、高等学校道德資料『自分との出会い』を作成。
- 平成 17 年度～ 独立行政法人教員研修センターは「道德教育を推進するための中核となる指導者の養成を目的とした研修」に高等学校部会を初めて設けた。
- 平成 18 年 茨城県教育委員会で、高校生の「道德」『ともに歩むー今を、そして未来へー』及び『高等学校道德教育指導資料』を作成。
- 平成 19 年度～ 茨城県では全ての県立高等学校において、第 1 学年（年次）の全生徒に、「総合的な学習の時間」で「道德」を 1 単位履修させる。
- 平成 20 年度 岩手県道德教育推進協議会・岩手県教育委員会で、『道德教育ハンドブックー新学習指導要領に基づくこれからの道德教育ー』を作成。

(2) 広島県の主な動き

文部科学省委嘱事業	指定校
平成 16・17 年度「児童生徒の心に響く道德教育推進事業」 ※ いわゆる「広島方式」の取組	県立福山明王台高等学校 県立松永高等学校 県立瀬戸田高等学校
平成 18・19 年度「児童生徒の心に響く道德教育推進事業」	県立可部高等学校
平成 19・20 年度「高等学校・中学校『人間としての在り方生き方を考える教育』実践研究事業」	県立三原東高等学校 三原市立第二中学校
平成 21・22 年度「道德教育実践研究事業」	県立三次高等学校

2 道德教育改善の基本方針（中央教育審議会答申（平成 20 年）から）

- 道德教育については、その課題を踏まえ、小・中・高等学校の道德教育を通じ、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を培い、自立し、健全な自尊感情をもち、主体的、自律的に生きるとともに、他者とのかかわり、社会の一員としてその発展に貢献することができる力を育成するために、その基盤となる道德性を養うことを重視する。

また、発達段階や社会とのかかわりの広がりなどの子どもたちの実態や指導上の課題を踏まえ、学校や学年の段階ごとに、道德教育で取り組むべき重点を明確にする。

【道德性】（高等学校学習指導要領解説 総則編 P.25）

道德性とは、人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指してなされる道德的行為を可能にする人格的特性であり、人格の基盤をなすものである。

それはまた、人間らしいよさであり、道德的諸価値が一人一人の内面において統合されたものといえる。

学校における道德教育においては、各教育活動の特質に応じて、特に道德性を構成する諸様相である道德的心情、道德的判断力、道德的实践意欲と態度などを養うことを求めている。

- 道徳の時間における子どもの受け止めは、小学校と中学校では相当に異なっていることから、幼児期や高等学校段階での改善を視野に入れつつ、より効果的な教育を行うために、小学校と中学校の指導の重点や特色を明確にする。

高等学校においては、道徳の時間は設定されていないが、社会の急激な変化に伴い、人間関係の希薄化、規範意識の低下が見られる中で、高等学校でも、知識等を教授するにとどまらず、その段階に応じて道徳性を養い、人間としての成長を図る教育の充実を進める。

- 学校全体で取り組む道徳教育の実質的な充実を図る視点から、道徳教育の推進体制等の充実を図る。

また、子どもの道徳性の育成に資する体験活動を一層推進するとともに、学校と家庭や地域社会が共に取り組む体制や実践活動の充実を図る。



(ii) 改善の具体的事項

- (エ) 高等学校においては、高等学校のすべての教育活動を通じて道徳教育が効果的に実践されるようにするため、学校としての指導の重点や方針を明確にし、道徳教育の全体計画の作成を必須化するとともに、各教科や特別活動、総合的な学習の時間がそれぞれの特質を踏まえて担うものについて明確にする。

また、社会の一員としての自己の生き方を探求するなど、生徒が人間としての在り方生き方にかかわる問題について議論し考えたりしてその自覚を一層深めるようにする観点から、中核的な指導場面となる「倫理」や「現代社会」（公民科）、「ホームルーム活動」（特別活動）などについて内容の改善を図る。

3 学校における道徳教育の考え方（高等学校学習指導要領 第1章総則から）

学校における道徳教育は、生徒が自己探求と自己実現に努め国家・社会の一員としての自覚に基づき行為しうる発達の段階にあることを考慮し人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行うことにより、その充実を図るものとし、各教科に属する科目、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、適切な指導を行わなければならない。

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を家庭、学校、その他社会における具体的な生活の中に生かし、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛し、個性豊かな文化の創造を図るとともに、公共の精神を尊び、民主的な社会及び国家の発展に努め、他国を尊重し、国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人を育成するため、その基盤としての道徳性を養うことを目標とする。

道徳教育を進めるに当たっては、特に、道徳的実践力を高めるとともに、自他の生命を尊重する精神、自律の精神及び社会連帯の精神並びに義務を果たし責任を重んずる態度及び人権を尊重し差別のないよりよい社会を実現しようとする態度を養うための指導が適切に行われるよう配慮しなければならない。（第1款の2）



3 指導計画の作成に当たって配慮すべき事項

- (4) 全教師が協力して道徳教育を展開するため、第1款の2に示す道徳教育の目標を踏まえ、指導の方針や重点を明確にして、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育について、その全体計画を作成すること。（第5款の3の(4)）

【keyword】 道德教育を進めるに当たっての配慮事項（解説総則編 P. 25 から）

- 「道徳的実践力」 ○「自他の生命を尊重する精神」
- 「自律の精神」 ○「社会連帯の精神」 ○「義務を果たし責任を重んずる態度」
- 「人権を尊重し差別や偏見のない望ましい社会を実現しようとする態度」

【 参考 】

行為の意味

宮沢章二

〈こころ〉はだれにも見えないが

〈心づかい〉は見える

それは 人に対する積極的な行為だから

同じように〈思い〉は見えないが

〈思いやり〉はだれにでも見える

それも人に対する積極的な行為だから

あたたかい心が あたたかい行為になり

やさしい思いが やさしい行為になるとき

人は 人として生きる

出典・結実の季節

〈二部抜粋〉

【引用・参考文献】

- ・文部科学省（平成 21 年）「高等学校学習指導要領」
- ・文部科学省（平成 20 年）「中学校学習指導要領解説 道徳編」
- ・文部科学省（平成 21 年）「高等学校学習指導要領解説 総則編」
- ・中央教育審議会（平成 20 年）「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善について」（答申）
- ・宮沢章二（2002）ほくしん詩集 3 『結実の季節』 北辰図書

【参考資料1】

平成20年度 道徳教育全体計画

秋田県立雄勝高等学校



「道徳の内容」の学年段階・学校段階の一覧表

【参考資料2】

小学校第1学年及び第2学年	小学校第3学年及び第4学年	小学校第5学年及び第6学年	中学校
<p>1 主として自分自身に關すること</p> <p>(1) 健康や安全に気を付け、物や金銭を大切にし、身の回りを整え、わがままをしないで、規則正しい生活をする。</p> <p>(2) 自分がやらなければならない勉強や仕事は、しっかりと行う。</p> <p>(3) よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行う。</p> <p>(4) うそをついたりごまかしをしたりしないで、素直に伸び伸びと生活をする。</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年に關すること</p> <p>(1) 自分でできるところは自分でやり、よく考えて行動し、節度のある生活をする。</p> <p>(2) 自分でやろうと決めたことは、粘り強くやり遂げる。</p> <p>(3) 正しいと判断したことは、勇気をもって行う。</p> <p>(4) 通称は素直に敬め、正直に明るい心で元気に生活する。</p> <p>(5) 自分の特徴に気付き、よい所を伸ばす。</p>	<p>小学校第5学年及び第6学年に關すること</p> <p>(1) 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直し、節度を守り規則に心掛ける。</p> <p>(2) より高い目標を立て、希望と勇気をもってくじけないうつ力する。</p> <p>(3) 自由を大切にし、自律的で責任のある行動をする。</p> <p>(4) 誠実に、明るく生きて楽しく生活する。</p> <p>(5) 真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよくする。</p> <p>(6) 自分の特徴を知って、悪い所を改めてよい所を積極的に伸ばす。</p>	<p>(1) 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り規則に心掛け調和のある生活をする。</p> <p>(2) より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。</p> <p>(3) 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。</p> <p>(4) 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。</p> <p>(5) 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。</p>
<p>2 主として他の人とのかわりに關すること</p> <p>(1) 気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。</p> <p>(2) 幼い人や高齢者など身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。</p> <p>(3) 友達と仲よくし、助け合う。</p> <p>(4) 日ごろ世話になっている人々に感謝する。</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年に關すること</p> <p>(1) 礼儀の大切さを知り、だれに対しても真心をもって接する。</p> <p>(2) 相手のことを思いやり、進んで親切にする。</p> <p>(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。</p> <p>(4) 生活を支えている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接する。</p>	<p>(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。</p> <p>(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。</p> <p>(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。</p> <p>(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。</p> <p>(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつてを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。</p> <p>(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにてたえる。</p>	<p>(1) 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。</p> <p>(2) 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。</p> <p>(3) 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。</p> <p>(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。</p> <p>(5) それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつてを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。</p> <p>(6) 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにてたえる。</p>
<p>3 主として自然や崇高なもの、かわりに關すること</p> <p>(1) 生きることを喜び、生命を大切にすることも大切にする。</p> <p>(2) 身近な自然に親しみ、動植物に優しい心で接する。</p> <p>(3) 美しいものに触れ、すがすがしい心をもつ。</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年に關すること</p> <p>(1) 生命の尊さを感じ取り、生命あるものを大切に愛する。</p> <p>(2) 自然のすばらしさや不思議さに感動し、自然や動植物を大切に愛する。</p> <p>(3) 美しいものや気高いものに感動する心をもつ。</p>	<p>(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自己の生命を尊重する。</p> <p>(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かみな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。</p> <p>(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。</p>	<p>(1) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自己の生命を尊重する。</p> <p>(2) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かみな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。</p> <p>(3) 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。</p>
<p>4 主として集団や社会とのかわりに關すること</p> <p>(1) 約束やまきまりを守り、みんなが使う物を大切にすること。</p> <p>(2) 働くことよきを感じて、みんなのために働く。</p> <p>(3) 父母、祖父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。</p> <p>(4) 先生を敬愛し、学校の人々に頼り込んで、学級や学校の生活を楽しくする。</p> <p>(5) 郷土の文化や生活に親しみ、愛着をもつ。</p>	<p>小学校第3学年及び第4学年に關すること</p> <p>(1) 約束や社会のまきまりを守り、公徳心をもつ。</p> <p>(2) 働くことよきを感じて、みんなのために働く。</p> <p>(3) 父母、祖父母を敬愛し、家族みんなで協力し合って楽しい家庭をつくる。</p> <p>(4) 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級をつくる。</p> <p>(5) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。</p> <p>(6) 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心をもつとともに、外国の人々や文化に関心をもち、世界をもつて世界の人々と親善に努める。</p>	<p>(1) 公徳心をもって法やまきまりを守り、自己の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。</p> <p>(2) だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。</p> <p>(3) 身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。</p> <p>(4) 働くことよきを感じ、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことをする。</p> <p>(5) 父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。</p> <p>(6) 先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。</p> <p>(7) 郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。</p> <p>(8) 外国の人々や文化を大切にすることをもち、日本人としての自覚をもつて世界の人々と親善に努める。</p>	<p>(1) 法やまきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自己の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。</p> <p>(2) 公徳心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。</p> <p>(3) 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。</p> <p>(4) 自己が属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。</p> <p>(5) 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。</p> <p>(6) 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもつて充実した家庭生活を築く。</p> <p>(7) 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。</p> <p>(8) 地域社会の一員としての自覚をもつて郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。</p> <p>(9) 日本人としての自覚をもつて国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。</p> <p>(10) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。</p>